



森田 則子

- ① ごみ減量化
- ② SAF(サフ)の取組み
- ③ がん患者へのウィッグ等の購入費助成

ごみ出し負担軽減策

問 時代とともに生活用品が多様化している。ごみの分別を、わかりやすく住民に周知できる「ごみ分別検索システム」を導入してはどうか。

答 50音順の品目検索と、収集方法を記載した分別データを、ホームページに掲載する。さらに、スマホのLINEを活用した検索システム等の導入も今後進める。

問 高齢者のごみ出し負担軽減や、シール制の問題点等の対応策は、検討されているのか。

答 高齢者等は、相談対応する。ごみ処理シールは、配布枚数が公平かどうか再度検討していく。



廃食油を航空燃料に

問 廃食油を回収し、航空燃料にリサイクルするSAFは、他市町でも取り組まれている。本町の認識と考えを問う。

答 SAFは、二酸化炭素排出量の削減に寄与し、また廃食油の回収により、ごみ減量化が図れると考える。まずはニーズ調査に務めていく。その上で住民から協力いただける。町としても取り組みでいくべきと考える。

がん患者の外見的ケア

問 令和6年6月の一般質問や窓口で要望している助成制度について、他の自治体の動向を踏まえたその後の検討結果は。

答 最近の情報では、豊能町が4月から助成を開始し、大阪府内の33市町村の自治体が実施している状況だ。本町も検討を重ねた結果、令和8年度からの実施に向けて、予算編成作業等に取り組んでいる。助成金額等は、他の自治体を参考に助成をしていきたい。



一般質問



岡本 ひとし

- ① ネット上の誹謗中傷をなくすための支援
- ② 能勢町人権施策推進計画の改定

人権侵害のない社会づくりについて

問 人権侵害の防止及び被害者救済支援等に関する実効性のある施策を問う。

答 誰もが加害者や被害者にならないよう、町民の理解増進と周知に努め、大阪府と情報共有を図り、早期解決に努める。

問 情報プラットフォーム法が4月に施行されたが、差別を許さない、見逃さない取組みを問う。

答 相談窓口の整備と情報の提供、正しい人権情報の提供、正しい人権情報の周知に尽きると考える。



SNS上でのいじめや権利侵害について教育現場における把握について問う。

答 毎月、児童生徒の状況を学校・教育委員会が情報共有し、SNS上のいじめや権利侵害への把握を行っている。

問 ネットハラスメントの活用が必要不可欠だと思われるが、活用と周知について問う。

答 チラシ等の活用と総合相談窓口等でも案内している。

問 改定に向けて、女性の参画が必要だが、担保していくのか問う。

答 多様な方の参画を引き続き努める。

能勢町人権施策推進計画・男女共同参画プランの改定について

問 人権施策推進計画・男女共同参画プランの改定時期だが認識を問う。

答 男女共同参画プランについては、令和8年度に改定し、人権施策推進計画については、令和9年度に改定する予定である。

問 改定に向けて、女性の参画が必要だが、担保していくのか問う。

答 多様な方の参画を引き続き努める。